

あたらしい 空気を創る

空調技研工業株式会社



あたらしい 空気を創る

空気が良い。という言葉があります。雰囲気が良い、という
意味で使うこともあれば、文字通り空気の循環が良い、
という意味で使うこともあります。いずれにしても、空気が
良いといわれるような環境は、何をするにも適しています。
空気が良ければ仕事や読書に集中できるし、リラックスして
会話を楽しんだり、身体を休める事ができます。快適な空調
環境を創ることは、時に身体を守り、時に心を前向きにし、
人々の笑顔を創ることにつながります。

私たちはそうやって、冷房・暖房・換気・防災のための空調
機器のメーカーとして、社会に貢献してきました。

今までより、もっと良い環境を皆様に提供できるように。
今までになかった、より新鮮な、より良い空気を提供できる
ように。私たち空調技研工業株式会社は、これからも未来
に向けて挑戦し続けます。

Greeting / 代表挨拶



こだわりとチャレンジ。それが私たちのスピリットです。

代表取締役 占部 幹彦

1966(昭和41)年創業以来、私たちは常にチャレンジ精神を忘れず前進してきました。幾多の難局を乗り越えて、今日を築き上げることが出来たのは、“己”
を変える勇気、“今”を超える勇気を忘れず、未来を創ってきたからです。そして今、当社は業界一の生産力を持つまでに成長しました。業界一の高品質、技
術革新、管理、低原価、新商品開発、時代を見据えたアジアへの進出...。しかし、まだまだこれから。私たちのチャレンジに終わりはありません。当社の伝統
や歴史、社会的使命を遵守しつつ、「モノづくり」へのこだわりを持ち、誠実さと個性を尊重し、柔軟な発想力を持つ“人”を育成していきます。また快適な
環境づくりの一翼を担う企業として、地球環境保護にも積極的に取り組みます。こだわりとチャレンジする意思。その熱い思いの融合体が空調技研工業
です。私たちは、一人ひとりがチャレンジャーであり続けます。

Philosophy / 企業理念・行動計画

【 経営理念 】 “己”を変える勇気(自己改革)
“今”を超える勇気(現状打破)
が未来を創る。

【 経営方針 】

- 生き生きとした「働きがいのある会社」をめざす。
- 「モノづくり」で世界に認められる空調機器メーカーをめざす。

【 経営の基本姿勢 】 変化を予測し、それに対応できる豊かな創造力を育てる。

- 持続的に成長する、収益力を備えた会社をめざす。
- 創造的、革新的な活力ある技術集団をめざす。
- 社会に貢献し、お客様に認められる会社をめざす。

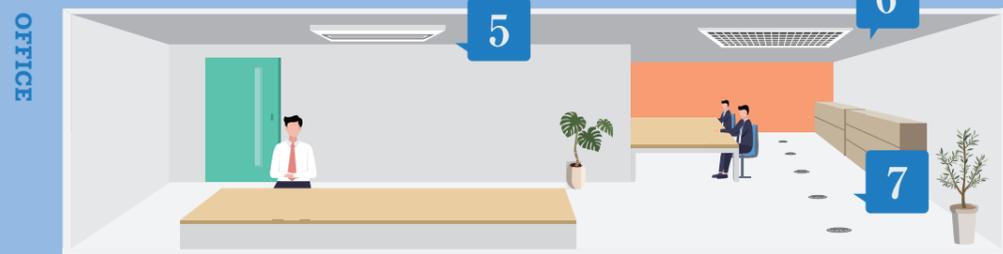
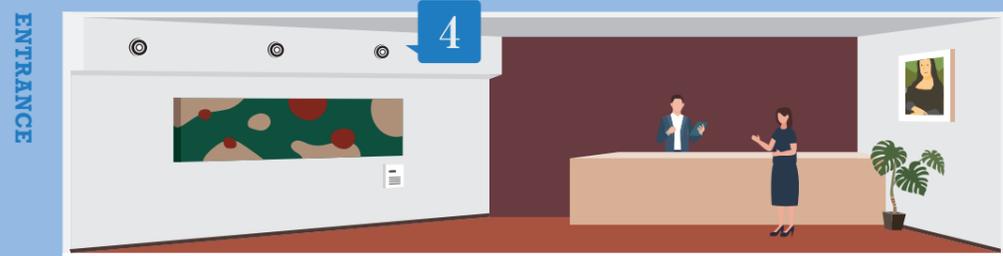
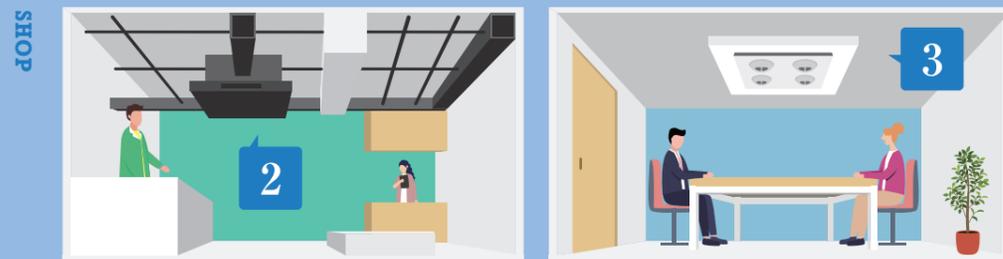
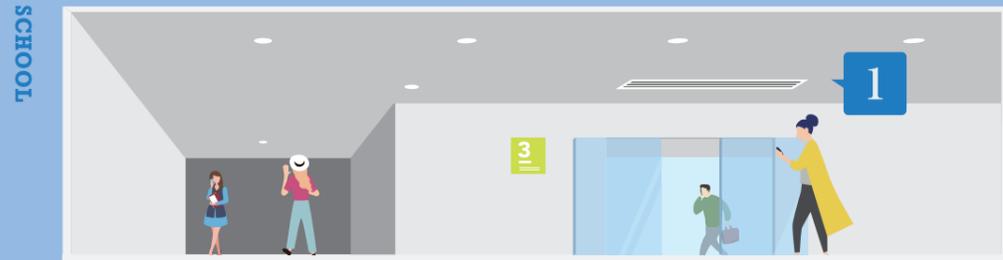
【 品質方針 】 信頼と満足を得るため、お客様に愛される商品・サービスを提供する。

【 スローガン
「5つの挑戦」 】

- 1 業界一の技術への挑戦
- 2 業界一の高品質への挑戦
- 3 業界一の管理への挑戦
- 4 業界一の低原価への挑戦
- 5 アジアを見据えた商品開発への挑戦

OUR PRODUCT

商品紹介
吹出口／吸込口



OUR WORKS 納入実績



国立競技場：吹出口



エスコンフィールド HOKKAIDO：吹出口



あべのハルカス：吹出口



VTL

エントランスやベリメータ部のエアカーテンとして使用されるライン型吹出口。垂直・水平・斜めに風向を切替え連結できるので、長尺寸法でも一体感が得られます。VOLTEX(渦)を利用した気流制御により、低圧損・低騒音を実現しています。



MFD

スケルトン天井用吹出口は、側面から気流を放出するのが特徴です。気流の拡散性を大きく向上させた上で快適な空間を提供します。



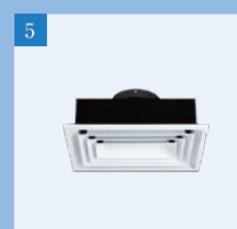
TAAC

タスク空調とアンビエント空調を切替え可能です。タスク空調には2人用のTAAC2と4人用のTAAC4があり、タスクファンOFF時には水平のアンビエント気流になります。タスク操作はリモコン式とスイッチ式が選択できます。



MKG-W型

劇場、ホール、ロビーなどの壁面に取り付けられる二重ノズルタイプの吹出口は、空間内の気流を効果的に調整することができます。中ノズルを上下に傾けることで、吹き出し方向を調整することができるため、暖房時には上昇気流を抑えることができます。



STE-MII

格子状(グリッド)に構成された天井用の吹出口で、Tバーや照明器具に乗せて使用します。水平吹出気流で、3、4、6方向と気流方向を制御できる吹出口です。



GTF

3.6m×3.6mモジュール(最小間仕切り対応)に対応しており従来の2台から1台に減らすことで、オフィス空調をより効率的に行うことができます。これにより、オフィス内の空気の流れをより均等にすることができ、快適な作業環境を実現することができます。



SKF-220TW

中央部の指向性吹出レバーの調整により指向性と拡散性の切り替えが可能です。また中央部は360度回転する指向性吹出仕様です。室内側から風量調整もでき、コイン落下防止板も取付けることができます。

工場 FACTORY



空調用吹出口業界のトップメーカーとして、全国へ自社製品を供給

本社工場

空調技研工業本社工場は、空調用吹出口業界のトップメーカーとして、革新的な商品を全国に供給しています。当社は常に品質とパフォーマンスにこだわり、最新の技術と設計を活用してお客様のニーズに最適なソリューションを提供しています。強力な研究開発チームと優れた製造プロセスにより、高品質な商品を迅速に提供することで、お客様のビジネスの成功に貢献しています。信頼性と革新性を結びつけ、快適な空間づくりに貢献する当社の商品は、業界の基準を確立し、お客様からの信頼を得ています。



2022年に設立した、ダンパー製造を主とした新しい工場

千葉工場

2022年7月に開設された千葉工場は、千葉県ちばりサーチパーク内に敷地面積:29,366㎡、延床面積:1,916㎡の規模で開設されました。ダンパー製造を主とする新しい工場です。最新の設備と専門知識を活用して、高品質なダンパーを製造し、お客様のニーズに応えることに注力しています。地域経済への貢献とともに、持続可能な発展を促進し、より快適で効率的な空間を提供するための取り組みを行っています。

OUR PRODUCT

商品紹介
ダンパー/VAV・CAV



VAV(可変風量制御装置)

比例信号を受ける事により、必要な風量だけを供給する様に調整します。
風速センサーを装備しており、常時ダクト内風速を計測しながら風量をコントロールします。



SFMD(防煙・防火ダンパー)

温度ヒューズ(72℃)または熱・煙感知器との連動により、瞬時に閉鎖するダンパーは、建物の火災延焼を防止するための重要な装置です。さらに、このダンパーには自動復帰式の機能が備わっています。



SR-3DM(排煙口)

煙感知器と連動して瞬時に開放するダンパーは、建物の火災安全システムにおいて重要な役割を果たします。また手動開放装置との連動も備わっております。復帰については、手動、モーターによる自動復帰機能も備わっています。



KDB-IU・KGB-2FA(手動開放装置)

排煙口や給気口と組み合わせて使用します。
火災発生時に在室者が操作する事により排煙設備が起動し、煙を排出します。



厨房用VAV

厨房の排気風量を設定値になる様にコントロールし、厨房排気系統毎の必要換気量を確保し、風量バランスを確保します。



圧力調整ダンパー

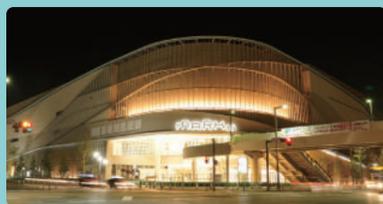
加圧防排煙設備の一部として設置され、火災時に避難室となる附室を加圧給気した際に、室内圧力が上がり過ぎない様に開放する事で圧力を隣接室に逃がし、附室の扉が開かなくなる事を防止します。



ASF-1DM(給気口)

排煙設備の一部として設置され、火災時の避難室に外気を取り入れる給気口です。
煙感知器との連動、又は手動開放装置の操作により開放し、外気を取り入れます。

OUR WORKS 納入実績



MARK IS 福岡もち:ダンパー



福岡空港:ダンパー



モード学園コクーンタワー:VAV

技術研究所 LABORATORY



最新鋭の設備を備えた、当社の
中枢実験施設

技術研究所

お客様のご要望に応じて商品を開発し、生産のプロセスや完成時点で数々の実験を徹底的に行います。吹出口の性能検証実験エリアは、14m×9m角、天井高は3m。実際のオフィス環境検証では、たとえばベリメーターゾーン(窓際)の気流実験が行えるように設計しています。また、季節に関わらず様々な環境条件での気流と気流の干渉実験などを行うことも可能。さらに残響室も設置し、吹出口やVAVの発生騒音試験も実施できます。



創造

Engineering

技術部

技術課

技術は当社の源泉であり、常に追いつける理想、半世紀にわたる歴史は、そのまま空調商品技術の歴史ともいえます。技術部は、CAD等による商品設計が主な業務。顧客が要望する性能や機能とデザインの融合を図り、高度な技術とインテリア感性で、新しい魅力と個性を持つ商品を生み出しています。また、コストや造り易さを意識し、常により良い商品となるように部品の改良や商品構造の改善に努めています。

Development

開発部

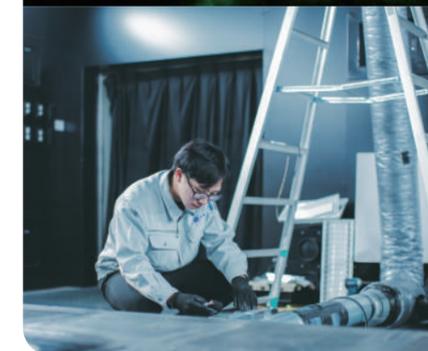
開発課 / 技術員室

開発部には開発課と技術員室があります。
 開発課は設計事務所、建設会社、設備会社との共同開発にも積極的です。また、「技術研究所」を拠点に、お客様のニーズに応じた商品を、数々の検証実験を通して開発していくのが使命。検証実験で得られたデータは、商品のクオリティアップや改良・開発を支える原動力となります。ZEBやカーボンニュートラル・SDGs等の省エネや環境にきめ細かく配慮した空調機器の創造へ挑んでいます。
 技術員室は、駆動部内にある制御部品の改善・改良を行う部署です。電子部品を組み込んだ制御基板などの信頼性試験を行い確実な品質を確保するため日々検証を行っています。
 2つの課に共通するのは社会・地域への貢献意識。そして「モノづくり」への誇りとこだわりです。



人と環境のニーズに技術で応える

当社の技術研究所は、商品開発の中核として革新的なアイデアを生み出し、先進的なテクノロジーを探求しています。常に変化する市場に対応し、顧客のニーズを満たすために、最先端の研究と開発に取り組んでいます。
 熟練したチームは、新商品やサービスの創造に情熱を持ち、常に技術革新の最前線に立っています。お客様のビジョンを実現し、世界に革新をもたらすために、私たち技術研究所がお手伝いいたします。



追求

Manufacturing

製造部

製造課 / 生産技術課 / 工機課

「糸島富士」とも呼ばれる可也山の麓、爽やかな潮風の吹く34,200㎡の広大な敷地。私たちはそこから月間10数万台もの商品を生産し、北海道から沖縄、東南アジア地域にまで送り出しています。多品種少量生産を可能にする労働力、業界トップクラスの出荷量を誇る生産能力、多様化するニーズに対応する技術力、ビジネス環境の変化に柔軟に迅速に対応しています。生産のハード担当の生産技術課・工機課、ソフトを担当する製造課の両輪でお客様により高い信頼と評価をいただける商品をお届けしています。

About Manufacturing

責任と誇りをもって、「高品質」「低原価」「短納期」にチャレンジ。

私たちのモットーは安全・安心で快適環境を創造する。技能の伝承により、個人の技術力を磨くと共にISOの品質システムに則り品質向上に努め、不具合の撲滅に取り組んでいます。

また、当社独自のK GK生産方式を浸透させ、個やグループによる徹底的なムダ排除による作業効率向上を進めるカイゼンの風土。ひとり一人が強い意識をもって小さな改善を積み重ね、作業プロセスを変更し、生産性向上・原価低減を進めています。

生産管理体制も進化。デジタル化・IT化を推進し、リアルタイムに生産状況を把握しフレキシブルに納期対応を行っています。関東圏に多くのシェアを持つ当社は、千葉県に新たな拠点を築き生産を拡大させています。様々な場面で使用され、快適環境構築の一端を担う当社商品は私たちの責任と誇りによって造られています。

商品を作る「機械」も自分たちの手で作り出す。

生産現場ではいつも能力と能率の追求です。安全に高品質で安価な商品を安定して生産するために常に生産方法を改善し続けています。当社では自社で設計し製作した専用機が多いことが一つの特徴です。現在は、協働ロボットと半自動設備の投入を積極的に推進しています。簡単で単純な作業はロボットが行い、人の手を加えないと難しい作業は人の手で行う生産ラインの構築を進めています。人とロボットが協業する未来を創造していきます。





先導

Management

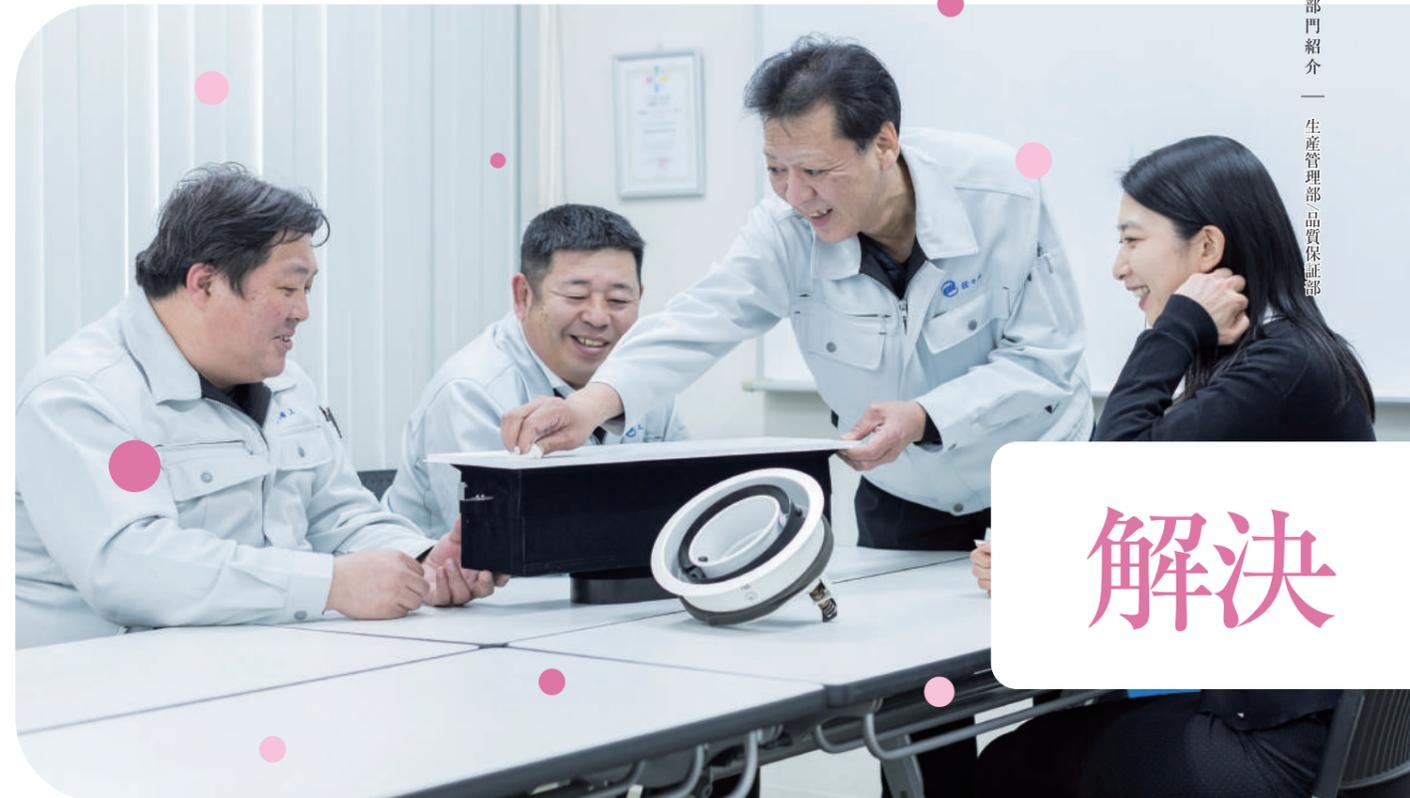
生産管理部

生産管理課
システム課
購買課

生産管理部が主導し、受注から出荷、配送までの基幹システムを構築してきました。生産管理課は技術課、購買課、製造課に情報を共有しスムーズな生産を統括する司令塔。スピーディかつ緻密なシステムで、生産から商品出荷までを管理しています。本社工場、千葉工場およびOEM企業と連携し日本全国からの注文に迅速に対応しています。また、国内の配送についても、全国の主要都市に拠点を配置するなど、独自の輸送システムを確立し、お客様から高い評価を得ています。

生産能力を支える安定供給に自信、海外調達への拡大。

事業活動に必要なものを外部から調達する部門が購買課です。事業戦略に基づき、仕入先の選定・交渉を実施し、生産計画に沿って必要なものを、必要な時に、必要な量だけ製造部門へ供給しています。また、国内外問わず仕入先に直接足を運んで、品質や供給能力を確認します。仕入れには多額の費用が動くため、交渉次第で会社の利益を左右する重要な役割を担っています。グローバル化が進む今、海外の生産力にいち早く注目し、相互理解と連携の絆を深めながら、多様なニーズにお応えする商品づくりのための調達ルートを確立してきました。現在は、ベトナムをはじめとする新しい生産・調達ルートを開拓しています。



解決

Quality Control

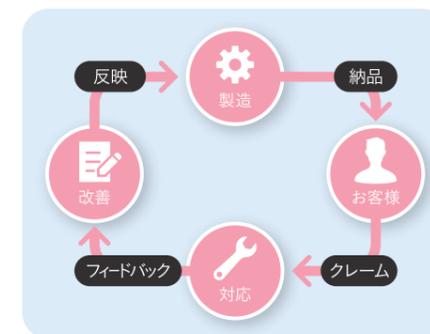
品質保証部

品質保証課
メンテナンス課

品質保証部の歴史は、万一の割合で発生するクレームと誠実に向き合ってきた歴史です。工程の各段階で商品のチェックを徹底的に行うのはもちろんのこと、出荷後の破損や故障または苦情に関しては迅速できめ細かな対応を行います。もちろん、クレームにつながる芽を先んじて摘むことが大切です。システム・プランに変更があった場合、検証を重ね不具合の解消に取り組んでいます。

お客様の満足のために、メンテナンスにも尽力。

品質保証部では、アフターメンテナンスや不具合への対応も重要な仕事です。関東・関西エリアにメンテナンス専門の社員を配置し、日本全国にメンテナンスのネットワークを確立しています。お客様にメンテナンスの重要性や商品に対するアドバイス等も行い、お客様満足度向上に努めています。また、お客様から頂いた貴重なご意見、ご要望を社内に展開し商品改善に活かしています。2000(平成12)年に初取得したISO9001(品質マネジメント規格)はその後更新を重ね、仕組みの強化、品質管理の向上を図っています。





育成

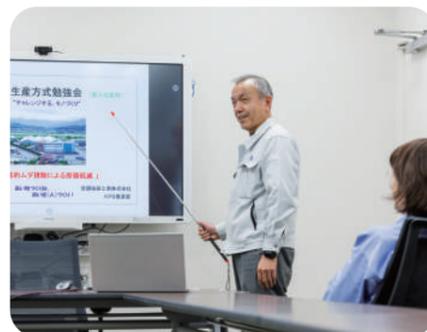
Central Affairs

総務部

総務、人事、法務、経理、財務と幅広い業務を担い、従業員と会社、部門と部門、過去と未来を繋ぐ縁の下の力持ちとして会社を支えています。全従業員ひとり一人が業務に集中し、快適で満足できる職場環境づくりをサポートしています。また、資産や資金の管理を行い、会社の将来に係る経営戦略のための財務情報提供を行うとともに、様々な法律や契約に関して法的な側面から会社の運営に携わっています。

モノづくりはヒトづくり、共に成長する。

会社の成長のため「人材発掘と育成」に力を入れています。新卒、中途の有望な社員を採用するとともに性別、年齢、国籍等にとらわれず、それぞれが活躍できる環境を整備しています。先人たちが築いてきた生産方式や技能を未来へ継承するため、KPS推進課を中心にモノづくりの基本から改善の方法までを研修し、小集団活動（ミニ改善活動）や改善提案制度を通じて実践的に学んでいきます。また、階層別教育や社外研修、資格取得を積極的に実施するとともに、技能の習得・向上を推進するため工場内にある教育施設を活用した訓練を行うなど、従業員の新たなチャレンジを支援しています。



総務課 KPS推進課

KGK TOPICS

空調技研工業は、さまざまなかたちで社内活性化や地域・社会貢献に取り組んでいます。

もっといい会社にするために、この会社を育ててくれた地域のためにそして一企業として社会や地球環境に貢献するために、一生懸命に。

改善提案制度

誰もが自分の課題として考える。モノをつくりながらヒトもつくっていく。

当社で働く社員一人ひとりが、製造工程のムダを省き効率化を図るプランを考え、実行。結果が出れば提案・発表できる制度。提案はほとんどが採用され、実践されます。自分の課題として考えるため「働く」ことへのモチベーションアップに繋がります。私たちはこのような制度を通してモノをつくりながらヒトもつくっています。



バンニングシステムの導入

環境保護に配慮した包装資材や梱包方法にも独自の改善を行う。

輸送後にはムダなゴミとなるダンボールなどを使わず、コンテナに詰めて輸送。コンテナは回収する新しいシステムです。私たちはこれからも迅速・確実な輸送を目指すとともに、環境保護と産業廃棄物問題にも向かい合います。



地域への貢献・充実の福利厚生

信頼と誇りと連帯感を持てる会社として地域への参加や福利厚生も積極的に。

恒例となっている献血運動、地域の自然を守るニギの浜松林植栽、東日本大震災復興ボランティア等に参加。社内的には、地引網・バーベキューや忘年会、各種イベント等を開催。地域社会に貢献し、社員に愛される会社を目指しています。

